



コンストラクション セーフティ

Sustainability is our business

© Copyright 2024 by The ERM International Group Limited and/or its affiliates ("ERM"). All rights reserved. No part of this work may be reproduced or transmitted in any form or by any means, without prior written permission of ERM.



データセンターとミッションクリティカル施設のための持続可能なソリューション

ERMのデータセンタープロジェクトは20か国に及び、アジア太平洋地域では100を超えるデータセンタープロジェクトを実施。

日本における主なプロジェクト例:

HSE プログラムの開発と実施

ERMは、データセンタークライアント向けの環境、健康、安全管理システム(EHSMS)の開発と実装をサポートしてきました。業務には、国際規制と現地規制のギャップ分析、EHSMSの開発、トレーニング、実施などが含まれます。また、コーポレートシステムだけでなく、運用および建設要件も含まれています。

その一環として、ERMは建設工事をサポートし、その業務には、ガバナンスとEHS管理、顧客の基準を展開するためのプロジェクト・レベルの 関与、施行、各サイトのGCとの検証などが含まれ、さらに第三者安全監査によるリスクレポート/サイトウォークのレビュー、サイトウォークの実施、リスク/EHSアセスメントのレビューも行っています。またERMは、問題を伝え、なぜ「正しく理解する」ことが重要なのか、その理由を説明するのに役立つ教訓を定期的に適用しています。これにより、そのような教訓をより深く理解し、将来のプロジェクトに適用することができます。

日本を含むアジアにおける安全衛生サービスの充実

ERMでは、日本を含むアジア全域で、データセンター建設時に専任の安全衛生コンサルタントが一般的な安全衛生責任に加え、建設中の事故やニアミスの管理サポートをしています。



データセンターとミッションクリティカル施設のための持続可能なソリューション

ERMのデータセンタープロジェクトは20か国に及び、アジア太平洋地域では100を超えるデータセンタープロジェクトを実施。

日本における主なプロジェクト例：

日本を含むアジアの拠点におけるHSE支援

ERMは、世界的なテクノロジー企業の日本におけるコロケーション・データホールのHSEマネジメント支援を提供しています。

サービスには、緊急訓練手順の作成、現場監査、法規制登録簿の作成等が含まれます。



ターンキーデータセンターの請負業者の監督

土地と資産の取得後、ERMは所有者の代理人として、データセンターサイトのターンキーベースで選択された請負業者を管理しました。

ERMは、専任の解体管理者(DM)と現場安全責任者(FSO)を配置し、請負業者の詳細な方法書、電気安全、アスベスト除去(脆性と非脆性)、高所作業、立ち入り禁止区域の設定、交通計画などを含む作業計画をレビューし、現場の施工を積極的に管理しました。特に注目すべきは、敷地境界に隣接する6階建てのR&Dおよびオフィスビルの解体であり、近隣の操業区域に影響を与えることなく安全に実施するために、広範な計画、防塵および防音管理、および複数の高所掘削機を使用した構造解体の戦略的順序付けが必要でした。

すべてのプロジェクト作業は、記録すべき安全事故が1件も発生することなく完了し、作業は予算内で予定より1カ月早く完了しました。

請負業者の安全管理

請負業者のライフサイクルの各段階におけるパフォーマンスの向上と影響力の最大化。

トレーニング、能力開発、変更管理

組織が受け入れ、実行し、達成するために必要な理解とスキルを獲得できるようにする安全ビジョンの策定。

リーダーシップ、文化、安全性の変革

変化の促進 - 賛同を得て、説得力のあるビジョンを策定し、「なぜ」を軸にして調整し、リーダーシップから組織全体に渡り「どのように」(行動)を推進する。

技術の安全性

プロセスの安全性と重大な危険源リスクをエンド・ツー・エンドで管理することにより、事業継続性を維持しながら、大惨事や死亡事故を防止する。

安全への投資価値の最大化 - 人命、資産、評判の保護

建設の安全性

キャピタルプロジェクトの建設・試運転段階を通じて、健全な安全性能で資産投資を保護し、最大化する。

死亡事故防止

プロセスの完全性の再活性化と回復、システムの強化、深刻な負傷および死亡事故(SIF)と闘う組織の回復力の構築。

現場制作

グローバルなメディア制作チームが安全にコンテンツを開発・制作できるよう支援する。

デジタルによる安全性

ガバナンス、変更管理、およびコミュニケーションによってサポートされるビジネス全体にデジタルトランスフォーメーションを提供するためのさまざまなソリューションの優先順位付け、実装、および維持。

コンストラクション・セーフティソリューション

テクノロジー部門は急激に成長しており、施設建設のペースも加速しています。

建設工事は危険性の高い作業であり、労働者の安全衛生、そして会社の評判に大きなリスクをもたらします。建設現場で発生した事故や怪我の責任は施主に発生します。



ERMの建設安全衛生サービス

ERMは、事前のプログラム評価から現場での建設監督、労働者の傷害防止、最高レベルでの企業経営陣との対話に至るまで、建設H&S管理のあらゆる側面をサポートします。



建設安全衛生サービス

当社の協力的かつ統合されたプロセスにより、時間とコストの効率が向上すると同時に、企業の評判に影響を与える可能性のある潜在的なリスクを評価します。ERMはゼネコンや請負業者と協力し、彼らが到着したときと同じ状態で帰宅できるよう、安全重視を徹底しています。

コンストラクション・マネジメント

ERMは、設計、建設、請負業者の入札審査と推奨、建設監督、その他の建築物建設や解体関連プロジェクトに携わるクライアントに、シングルソース・ソリューションを提供しています。費用対効果の高いソリューションと実践的なプロジェクト管理により、お客様が時間や予算内で規制要件を遵守できるよう支援します。

監査サービス

ERMは、現場のコンプライアンス監査プログラムから、多国籍企業の監査プログラムや独立検証の調整・管理まで、建設関連のH&Sコンプライアンス監査サービスを幅広く提供しています。

ハザード分析と管理

ERMのH&S専門家は、建設関連のリスクの特定、評価、管理において建設担当者と協力することに豊富な経験を有しています。私たちは、業務ハザード分析を実施する際、体系的な共同アプローチを用いて、労働者が危険にさらされるのを緩和または排除するための作業慣行、管理、および/または工学的管理の機会を特定します。

安全衛生実施サービス

ERMの経験豊富なスタッフが請負業者の導入、トレーニング・プログラムの管理、現場でのサポートを提供します。これには、カスタマイズされたニーズ分析の実施、トレーニング資料の作成、トレーニングの実施、トレーニング後の評価、さらに現場でのH&Sの監督、教訓、コンプライアンス監査などが含まれます。ERMのデジタルソリューションは実装を容易にし、組織全体のH&S情報へのアクセスを提供します。

安全衛生トレーニングプログラム

ERMは、クライアント固有のニーズに合わせ、お客様の安全の柱、プログラム、救命規則と統合するため、安全トレーニング・プログラムを設計、補足、提供することができます。当社のスタッフは、受講者のニーズに焦点を当てたトレーニング教材を開発し、知識の伝達と保持に効果的です。私たちのサービスには、トレーニング・ニーズの評価、トレーニング教材の開発、トレーニングおよびトレーニング後の評価の実施、コンピューター・ベースのトレーニング・コンテンツの開発と提供などが含まれます。



建設事業における安全性

建設と試運転段階を通じた確かな安全性能で資産投資を保護

ERMは、クライアントとのパートナーシップにより、最適な安全パフォーマンスを実現します。

- すべての作業フェーズ及びすべてのプロジェクトチームで安全パフォーマンスの期待値と行動を調整することで、成功に向けた準備を整える。
- プロジェクトリーダーを通じて安全上の問題に効果的に対処し、さらに安全パフォーマンスを強化、文化的および行動的問題に対処する能力を構築する。
- リーダーと労働者のための安全プログラム、手順、ツールを開発し、リスクに対処し、「良いものとは何か」を伝え、実用的な適用とサポートを提供する。
- リーダー、安全部門、現場作業員の間で現場でのコーチング能力を構築することにより、現場での効果的なプレゼンスを確保し、関与と説明責任の文化を確立・維持。



請負業者の安全管理

請負業者のライフサイクルの各段階におけるパフォーマンスの向上と影響力の最大化

私たちは、クライアントの第一線で活躍するスーパーバイザー、マネジャー、オペレーション・リーダーと直接協力し、次のような取り組みを通じて、彼らの効率を高めています。

- より良い意思決定：請負業者の安全、ひいては組織の安全に影響を与える戦略的、業務的、最前線の意思決定。
- 現場での有意義な監督を含め、あらゆるタッチポイント（管理面および運営面）で効果的な対話。
- 期待と請負業者の安全パフォーマンスの整合性の確保。
- 安全およびリスク管理を、既存の請負業者管理プログラムおよびアプローチに総合的に統合。



死亡事故防止

プロセスの完全性を再活性化し、システムを強化し、重大な傷害と死亡事故(SIF*)と闘う組織の回復力を構築します。

**SIF: Serious Injuries and Fatalities*

ERM はクライアントと提携して次のことを行います。

- SIF防止における既存の安全・リスク管理プロセス、文化、リーダーシップの有効性を評価
- 危険認識、リスク許容度、安全文化、安全リーダーシップに関する認識の転換と、能力の構築
- 許容可能なリスクを定義し、重要な管理を特定、検証、強化することにより、危険性の高い作業や活動を特定し、管理
- 安全性の伝達と可視化を行い、安全性とリスクに関する意思決定の質を向上
- 組織全体のリスク削減を測定

お問い合わせ

西 利道
Consulting Partner

toshimichi.nishi@erm.com

イー・アール・エム日本株式会社

本社

〒220-8119
神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー19階

東京オフィス

〒100-0004
東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビル5階

大阪オフィス

〒530-0017
大阪府大阪市北区角田町8-47
阪急グランドビル20階